

「地域力の再生と発展を願って」

梅雨に入り雨が少なくと言っていた矢先、7月12日から13日にかけて、津幡町とかほく市を中心に記録的な集中豪雨となり、大きな被害となりました。被災された方々にお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧を願っております。

昨今の集中豪雨は想定を大きく上回ります。防災、避難への備えはもちろんですが、復旧に向けての備えもしなければなりません。豪雨被害の復旧には重機や人力が欠かせません。特に浸水した住宅の後片付けには人手がものを言います。ボランティアの受け入れや作業者の割り振りなど、どのエリアにどれだけの人手を割り振るか、短期間の選択と集中が重要になってきます。その受け皿になるのが行政や地域であり、地域の力が問われます。

地域の力とは何か。それは「共助」ではないでしょうか。災害復興復旧には地域の力、すなわち「共助」の力が大きく関わっているとされています。平時から「共助」の精神を醸成しておくことが、いざという時の備えになると感じています。

梅雨明けの穴水町の盛夏到来を告げる、町最大のイベント長谷部まつりが7月の22日、23日と開催されました。61回目となる今年は、4年ぶりに制限なしの通常開催をすることができました。前夜祭に始まり、信連行列、夜のステージイベント、花火など盛りだくさんの内容で、町内はもちろん町外からも多くの

方々が穴水町にお越しいただき、楽しんでいただけました。また、準備や当日のイベントに本当に多くの方々のご協力あつての長谷部まつりであったことを実感しました。主催者の一人として本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

これから穴水町では地域の祭りやイベントがたくさん行われます。3年ぶり、4年ぶりに行われるものもあると思います。共助の精神で、コロナ禍で失われた地域力を取り戻すことができればと思います。

これからまだまだ残暑が続きます。町民の皆様には体調に十分ご留意されますようお願いいたします。

Mayor Column Vol.17

町長コラム

筆おもむくままに

穴水町長 吉村 光輝

